



# 東京下町フォトログ4

【3時間コース】

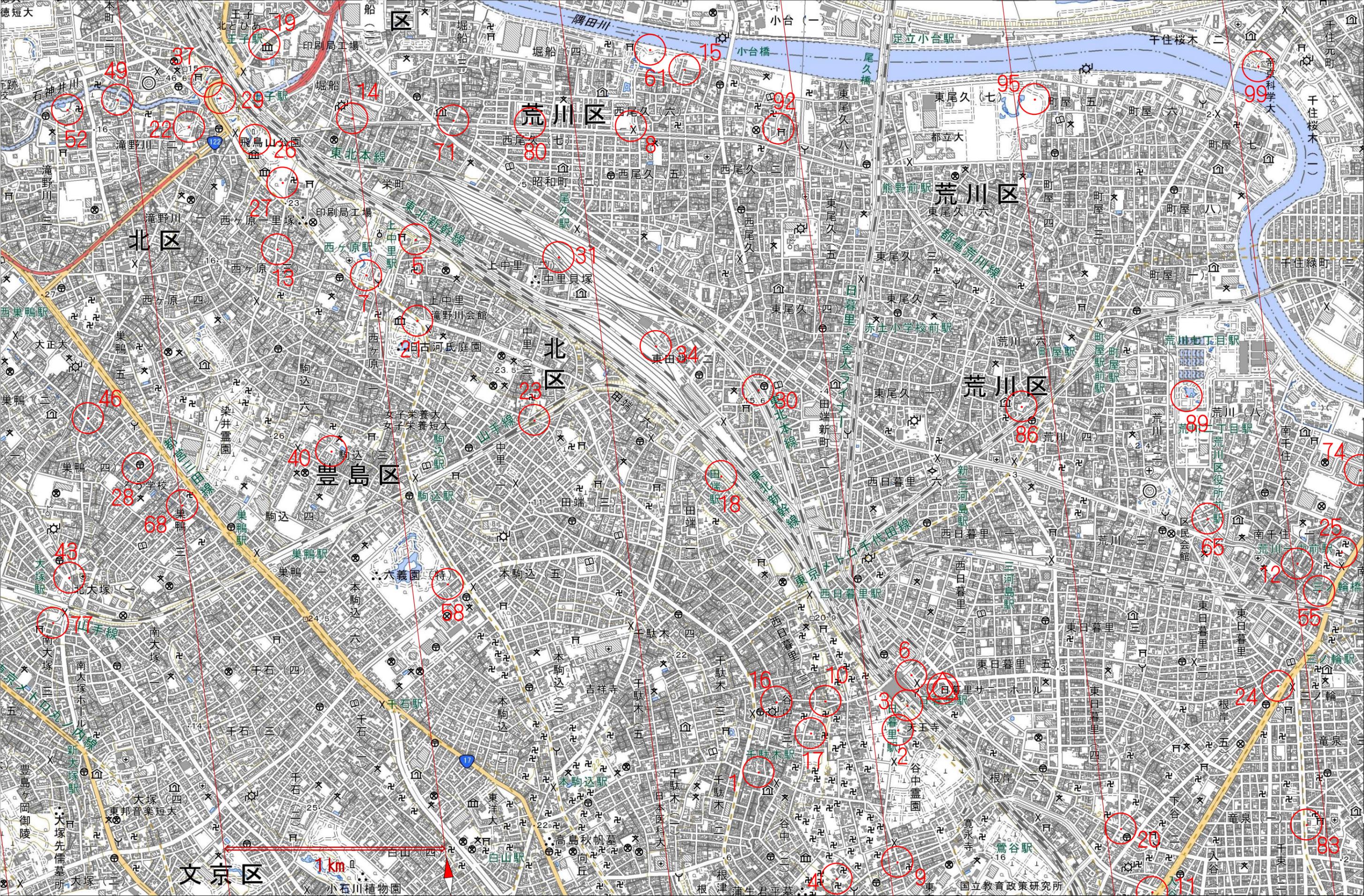
縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m



2025年1月4日(土)

この地図は、国土院発行の電子地形図25000を複製したものである。フォトゲイニング®、フォトログ®は日本フォトゲイニング協会の登録商標である。承認番号B-0019-2025-0001

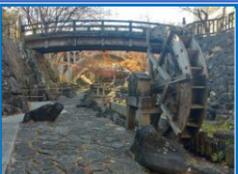
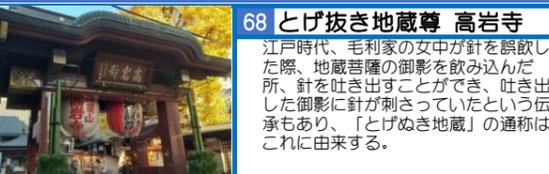
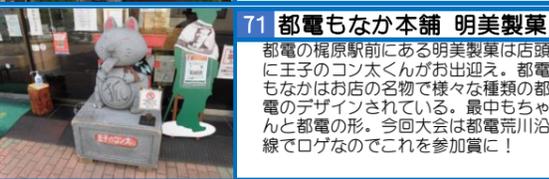
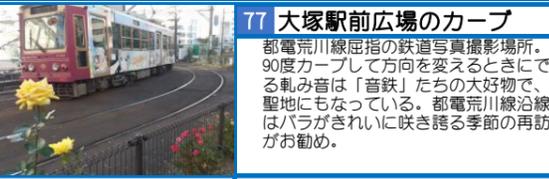
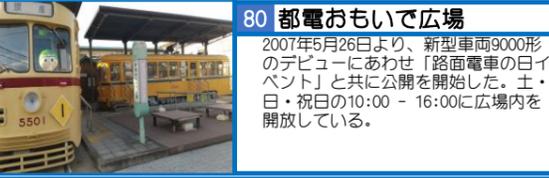
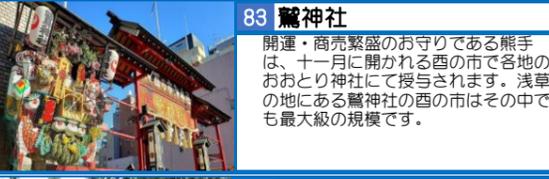
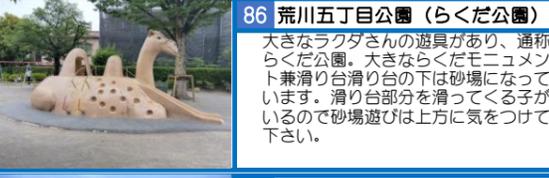
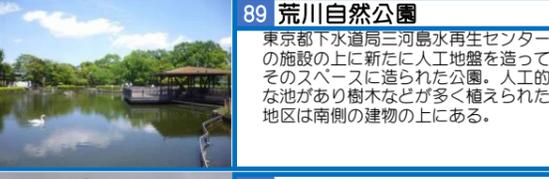
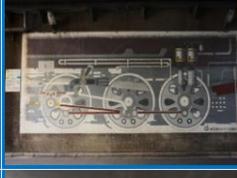
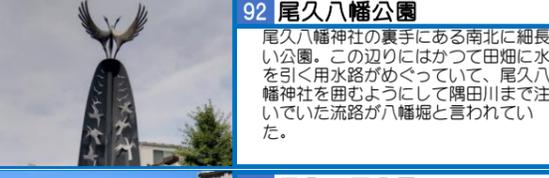
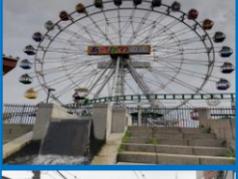
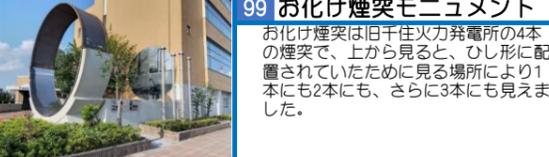
※ウォーク&ライド参加者のみ電車/バスの乗車可



○→チェックポイント 99→得点

△→スタート ○→フィニッシュ

# 東京下町フォトログ4 チェックポイント一覧 (2025/1/4開催 日暮里サニーホール:スタート&フィニッシュ)

	<p><b>得点</b> チェックポイント名</p> <p>この一覧の見本写真とはほぼ同じ構図の写真撮影してください。 チームの場合、撮影者以外の全チームメンバーの顔をフレームインさせて撮影してください。</p>		<p><b>11 入谷朝顔発祥之地碑</b></p> <p>幕末の安政の頃に入谷に住んでいた植木師成田屋山崎留次郎が朝顔作りの大関だったと記録が残っていますが、入谷が朝顔で有名になったのは明治になってからで、十数件の植木屋が軒を連ねて朝顔作りをはじめました。</p>		<p><b>22 醸造試験所跡地公園</b></p> <p>明治時代に創設された酒類醸造に関する試験場の移転跡地に整備された公園。一部現存し、国の重要文化財に登録された煉瓦づくりの旧醸造試験所第一工場を間近に見ることができ。</p>		<p><b>37 音無親水公園</b></p> <p>石神井川の旧流路に整備された公園。石神井川は、北区付近では音無川と呼ばれ親まれ、四季の行楽の名所、景勝の地だったと都市化が進み汚れた川となった。かつての渓流を取り戻したいと運動が起こり親水公園ができた。</p>	 <p><b>68 とげ抜き地蔵尊 高岩寺</b></p> <p>江戸時代、毛利家の女中が針を誤飲した際、地蔵菩薩の御影を飲み込んだ所、針を吐き出すことができ、吐き出した御影に針が刺さっていたという伝承もあり、「とげぬき地蔵」の通称はこれに由来する。</p>
	<p><b>1 菊見煎餅総本店</b></p> <p>1875(明治5)年創業。一枚一枚手作りされる堅焼きせんべいは徳こたえと四角い形が特徴。懐かしいその味わいは醤油・抹茶・唐辛子・砂糖の4種類。</p>		<p><b>12 砂場総本店</b></p> <p>江戸時代から続く蕎麦屋の老舗。現在の店主は14代目。蕎麦の実の中心部のみを使った細く白い蕎麦が特徴。1954年に建てられた総ヒノキ造りの建物は船底天井など当時の技術を知ることができ研究者も訪れる。</p>		<p><b>23 第二中里踏切(山手線最後の踏切)</b></p> <p>駒込駅と田端駅の間にある踏切で、山手線に唯一残されている踏切。ピーク時の1時間あたりの遮断時間は40分を超え、「開かずの踏切」として知られる。ゴルフボールの立体看板をフレームインさせること。</p>		<p><b>40 門と蔵のある広場</b></p> <p>かつて植木職人であり地主でもあった丹羽家の邸宅跡を公園として整備したもので、公園の一角には国の登録有形文化財に指定される旧丹羽家住宅蔵が保存されている。</p>	 <p><b>71 都電もなか本舗 明美製菓</b></p> <p>都電の橋原駅前にある明美製菓は店頭王子のコン太くんがお出迎え。都電もなかはお店の名物で様々な種類の都電のデザインされている。最中もちゃんともなかの形。今回大会は都電荒川沿線でログなのでこれを参加賞に!</p>
	<p><b>2 谷中霊園</b></p> <p>JR日暮里駅南の高台にある、桜の木で囲まれた霊園。有名な芸術家や俳優の墓、五重塔跡がある。横山観・沢沢栄一もここに眠る。天王寺南東角にあるお地蔵さんを撮影。</p>		<p><b>13 東京ゲート記念館</b></p> <p>ドイツの文豪ゲーテに関する文献を集めた私立図書館。ゲーテに特化した資料を集めた資料館としては世界でもユニークな存在。ゲーテの小径という車道を挟んだポケットパーク側から撮影。</p>		<p><b>24 金太郎船本店</b></p> <p>『どこを切っても金太郎』でおなじみの「金太郎船」。東京三ノ輪にて明治初期から120年以上長く愛されてきた歴史と伝統の味。職人の手作りで、同じように見ても笑顔だったり、困った顔だったり表情はいろいろ。</p>		<p><b>43 イロハモミジ</b></p> <p>JR大塚駅北口の駅前広場が、再整備により「Ironowa hiro ba (イロノワヒロバ)」が作られた。折戸通り側のモニュメント横にイロハモミジが植えられた。独特な形状のモニュメントを撮影。</p>	 <p><b>74 旧千住製絨所煉瓦塀</b></p> <p>殖産興業をすすめる明治政府が建てた、日本初の官営毛織物工場である千住製絨所の煉瓦塀の一部が残っている。後に陸軍の工場となり、軍服や警察官の制服生地を製造していた。</p>
	<p><b>3 JR日暮里駅南改札口</b></p> <p>緑のトンガリ屋根の駅舎がとてもかわいいです。日暮里駅は線路が沢山ならんでいて、上野の台地の崖下を列車が走ります。狭い土地なので、橋を架けて橋上に改札口を作りました。改札口でたら橋の上です。</p>		<p><b>14 東書文庫</b></p> <p>東書文庫は昭和11年に設立の日本初の教科書図書館。鎌倉時代から現在に至るまでの教科書の変遷を知ることができる。教科書など約1万6千点を所蔵し、平成21年には所蔵品のうち76,420点が、国の重要文化財に指定された。</p>		<p><b>25 旧上野の黒門</b></p> <p>元々は上野寛永寺に建っていた門。慶応4年に彰義隊が明治新政府軍と戦った上野戦争の際の激しさを今も伝える弾痕が数多く残っている。ここ円通寺の住職が彰義隊士の遺体を埋葬し供養をした縁で明治40年に移された。</p>		<p><b>46 猿田彦大神業鴨庚申堂</b></p> <p>この辺りは中山道の旅人の休憩所として江戸時代に栄えていて簡単な茶店もあり人足や馬の世話もしていた。名所飛鳥山に近く、右に向かえば花の名所飛鳥山、紅葉の王子にでる王子道の道しるべを兼ねた庚申堂がここにあった。</p>	 <p><b>77 大塚駅前広場のカーブ</b></p> <p>都電荒川線屈指の鉄道写真撮影場所。90度カーブして方向を変えるときにできる軋み音は「音鉄」たちの大好物で、聖地にもなっている。都電荒川線沿線はバラがきれいに咲き誇る季節の再訪がお勧め。</p>
	<p><b>4 谷中の井戸</b></p> <p>名横綱故千代の富士の像がある玉林寺の脇を抜けるクラック上の細い路地の中間点の石段を下りたところの風情のあるトタン屋根で覆われた個人所有の井戸。谷中の静寂こわさないよう静かに撮影下さい。</p>		<p><b>15 荒川遊園煉瓦塀</b></p> <p>大正11年に開業した荒川遊園を囲む煉瓦塀の東側の一部。長手だけの段と小口だけの段を1段おきに繰り返す「イギリス積み」という構造で、開園時の構造と考えられている。</p>		<p><b>26 飛鳥山公園</b></p> <p>昭和53年4月まで都電荒川線を行っていた車両が飛鳥山公園に展示されている。この車両は6000型と呼ばれており昭和24年製造の75歳。</p>		<p><b>49 緑の吊り橋</b></p> <p>石神井川の旧川を利用して作られたのが音無さくら緑地。自然の川岸が残され、古い地蔵を見ることができ。緑地に架かる吊り橋は本格的な造りで、23区内でも珍しい。吊り橋上から撮影。</p>	 <p><b>80 都電おもいで広場</b></p> <p>2007年5月26日より、新型車両9000形のデビューにあわせ「路面電車の日イベント」と共に公開を開始した。土・日・祝日の10:00 - 16:00に広場内を開放している。</p>
	<p><b>5 上中里駅</b></p> <p>尾久車両センターと京浜東北線の線路に囲まれた特殊な立地であり、付近に大きな商店街などは無い。京浜東北線の駅では最も乗車人員が少ない。東京23区の中で越中島駅に次いで2番目に利用客数が少ない駅。</p>		<p><b>16 谷中銀座</b></p> <p>日暮里駅と千駄木駅の間に位置する商店街。下町情緒あふれる合板千工エリアの中心的存在で、全長170mほどの通りに約60店舗のお店が立ち並んでいる。お手頃で美味しいものをいただける個性的なお店がたくさんある。</p>		<p><b>27 渋沢栄一像</b></p> <p>飛鳥山公園の東側の庭園に立つのが渋沢栄一像。この庭園一帯は近代日本経済の父といわれる渋沢栄一が明治12年から亡くなるまで昭和6年まで暮らした場所。大正時代築の青淵文庫、晩香廬(ばんこうろ)が現存しています。</p>		<p><b>50 おみくじ又はせんべい購入ポイント</b></p> <p>地図の範囲の寺社でおみくじ又はせんべいをお買い求めください。寺社又はお店の看板と買ったものを一緒に写真を撮ると50点です。(加算されるのはおみくじ又はせんべいで1度だけ)</p>	 <p><b>83 鷲神社</b></p> <p>開運・商売繁盛のお守りである熊手は、十一月に開かれる酉の市で各地のおおとり神社にて授与されます。浅草の地にあり樹木などが多く植えられた地区にも最大級の規模です。</p>
	<p><b>6 太田道灌騎馬像</b></p> <p>疾走する馬上で弓を構える道灌の姿は、ダイナミズムに満ちた素晴らしい躍動感がある。道灌は戦国時代、扇谷上杉家に仕えた武将で、知略に富み、築城術に長けた人物としても知られている。高さ8mのプロソス製の像。</p>		<p><b>17 岡倉天心記念公園</b></p> <p>今の東京藝大の前身の設立にかかわり、また日本美術院を創設した岡倉天心の旧居跡。中心に六角堂があり中には天心坐像がある。公園の中のいたるところに六角形が潜んでいて、かなりの徹底ぶりです。探してみてください。</p>		<p><b>28 すがもんポスト</b></p> <p>菓舗地蔵通り商店街のキャラクター「すがもん」が上に乗ったポスト。菓舗から菓舗地蔵通り商店街を進み、とげぬき地蔵の先にある菓舗郵便局の前にある。</p>		<p><b>52 音無もみじ緑地</b></p> <p>石神井川の蛇行していた場所。江戸名所図会でも「この地は石神井の流に臨み、自然の山水あり。兩岸高く桜楓の二樹枝を交え、春秋ともながめあるの一勝地なり。」と記されている。</p>	 <p><b>86 荒川五丁目公園(らくだ公園)</b></p> <p>大きなラクダさんの遊具があり、通称らくだ公園。大きならくだモニュメント兼滑り台滑り台の下は砂場になっています。滑り台部分を滑ってくる子がいるので砂場遊びは上方に気をつけて下さい。</p>
	<p><b>7 御殿山遺跡</b></p> <p>先土器時代から近世にわたる複合する遺跡。なかでも奈良・平安時代に造られた建物の跡は武蔵国豊島郡の地方役所と推定されている。現在は遺跡周辺には、滝野川公園、滝野川体育館、地震の科学館、消防署などがある。</p>		<p><b>18 田端駅南口</b></p> <p>映画『天然子』で重要なシーンに登場し、ファンの聖地となっているのが田端駅南口を出てすぐの坂道。フェンスの奥にある何層も登場した「あみ印」の看板も折角なのでフレームインさせましょう!(新幹線は不要)</p>		<p><b>29 飛鳥山山頂</b></p> <p>東京23区の自然地形の最高峰は、標高25.7mの港区愛宕山。北区飛鳥山山頂の標高は25.4mと30cmほど愛宕山に及ばないものの23区第2の高峰に君臨している……</p>		<p><b>55 三ノ輪橋駅</b></p> <p>都電荒川線の始発駅。春には見事なバラが咲き揃う都内唯一の都電が走る停留所であることから、平成9年に「関東の駅百選」に選定された。(車両が無く、駅舎のみでもOK)</p>	 <p><b>89 荒川自然公園</b></p> <p>東京都下水道局三河島水再生センターの施設の下に新たに人工地盤を造ってそのスペースに造られた公園。人工的な地盤があり樹木などが多く植えられた地区は南側の建物の上にある。</p>
	<p><b>8 あらかわ遊園ゲート</b></p> <p>都電荒川線の荒川遊園地前停留場近くの横断歩道からほど近い場所に観覧車をかたどったゲートがある。そこからあらかわ遊園の入園口までは遊歩道が続き、色んな遊具が設置された公園エリアとなっている。</p>		<p><b>19 お札と切手の博物館</b></p> <p>1階展示室では偽造防止技術の歴史をテーマに、偽造を防止する「印刷技術」について紹介。2階展示室では、歴代の紙幣や切手約700点を展示し、社会背景の変化や技術の進歩によるデザインの移り変わりなどを紹介。</p>		<p><b>30 与美ガード</b></p> <p>壁画アート2種類のうち、地元の滝野川第四小学校の児童たちが書いた13個のデザイン画と鉄道写真のデフォルメ12個を組み合わせたものではなく、SLをデザインしたものを撮影。車の通行に注意。</p>		<p><b>58 六義園正門</b></p> <p>都内でも有数の六義園の紅葉は、優雅な大名庭園を鮮やかに彩ります。300年の歴史ある日本庭園で、季節の移りを感じながら贅沢な時間を過ごすことができます。いくつかある門のうち正門を撮影。</p>	 <p><b>92 尾久八幡公園</b></p> <p>尾久八幡神社の裏手にある南北に細長い公園。この辺りにはかつて田畑に水を引く用水路がめぐっていて、尾久八幡神社を囲むようにして隅田川まで注いでいた流路が八幡堀と言われていた。</p>
	<p><b>9 カヤバ珈琲</b></p> <p>大正5年築の町家を利用した昭和13年創業の珈琲店。一度閉店したが、この店を愛する有志により大正町家の柱梁や外観、昔の雰囲気を残しつつ平成21年に復活した。軽食メニューやドリンクを提供。</p>		<p><b>20 手児奈せんべい店</b></p> <p>鶯谷駅東側、言問通りからつづく通りへと進むと現れる手焼き煎餅店。創業から60年以上。江戸っ子好みの手焼き煎餅が並び、人気はごま煎餅。黒ごまがギッシリと詰まっている。</p>		<p><b>31 尾久駅構内架道橋</b></p> <p>JR東北本線の尾久駅前のロータリーから、南側の上中里2丁目を結び、尾久車両センターの地下を南北に縦断する長さ150mもある地下道。南側の上中里2丁目の階段を地下に下りてすぐの場所で撮影。</p>		<p><b>61 あらかわ遊園</b></p> <p>大正11年開園都内唯一の公営遊園地。低年齢層の子供が楽しく遊べるよう特化、小学校低学年層に合わせたレベルで激しい動作のアトラクションはない。園内には入らず隅田川岸のアリスの広場から観覧車を撮影する。</p>	 <p><b>95 尾久の原公園</b></p> <p>旭電化の工場跡地に出来た公園。芝生広場や夏は水辺で遊ぶ流れ、はらっぱ、クローバーの広場があり、およそ200本のシダレザクラが見事に育ってきており、毎年4月に「シダレザクラ祭り」を開催している。</p>
	<p><b>10 夕やけどだんだん</b></p> <p>下町情緒にあふれる谷中銀座商店街のはずれにあり、夕焼けに染まる商店街の活気を見せる36段のゆるやかな階段。近所の猫たちのたまり場にもなっています。</p>		<p><b>21 旧古河庭園</b></p> <p>英国ルネサンス風の洋館と洋風庭園は、大正初期の庭園の原型をとどめる貴重な存在。約100種200株のバラが咲き誇り、春と秋にはバラの見頃に合わせたバラフェスティバルを開催。</p>		<p><b>34 東北回送線王子街道南回り踏切</b></p> <p>遮断の様子を減らす見られず足止めされたらむしろレアな、開かずではなく「開かずの踏切」ともいえる踏切。ここを通過する列車は回送される機関車で運転回数も極めて少ない。</p>		<p><b>65 荒川区役所前駅</b></p> <p>1913年 千住間道停留場として開業し、1942年に三河島二丁目停留場に改称。その後1961年に荒川区役所前停留場に改称。都電と東京スカイツリーと一緒にきれいに撮影できる場所。(車両が無く、駅舎のみでもOK)</p>	 <p><b>99 お化け煙突モニュメント</b></p> <p>お化け煙突は旧千住火力発電所の4本の煙突で、上から見ると、ひし形に配置されていたために見る場所により1本にも2本にも、さらに3本にも見えませんでした。</p>



# 東京下町フォトロゲ4

(5時間コース)

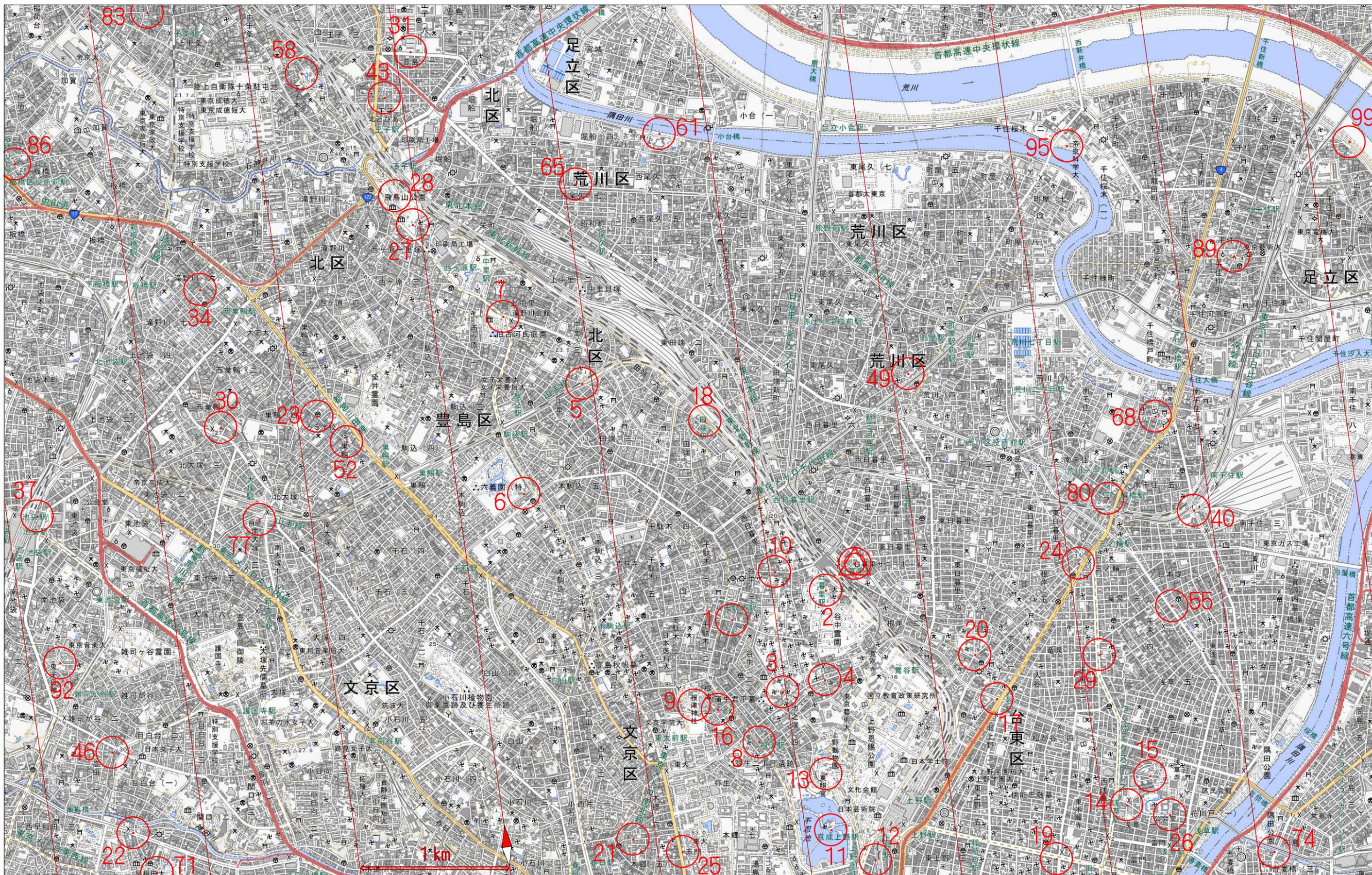
○→チェックポイント 99→得点 △→スタート ◎→フィニッシュ

縮尺 1 : 23,000 等高線間隔 10m ※カー&ライド 参加者のみ電車・バスの乗車可



2025年1月4日(土)

この地図は、国土院発行の電子地形図25000を複製したものである。フォトロゲイニング®、フォトロゲ®は日本フォトロゲイニング協会の登録商標である。承認番号B-0019-2025-0001



# 東京下町フォトログ4 チェックポイント一覧 (2025/1/4開催 日暮里サニーホール:スタート&フィニッシュ)

	<p><b>得点</b> チェックポイント名</p> <p>この一覧の見本写真とはほぼ同じ構図の写真を撮影してください。 チームの場合、撮影者以外の全チーム・メンバーの顔をフレームインさせて撮影してください。</p>		<p><b>11 不忍池弁天堂</b></p> <p>不忍池の中にある八角形の建物。緑の屋根と赤い柱に白い壁のコントラストが、遠くからでも人々の目を惹きつける。七福神の弁財天をお祀りしていることから、音楽や芸能の守り神として親しまれている。</p>		<p><b>22 早稲田駅(都電)</b></p> <p>東京さくらトラム(都電荒川線)の西の起終点、早稲田停留場。かつては都電の3路線が交わり、昔から早稲田大学に通う学生の足としても利用されてきました。</p>		<p><b>37 いけふくろう</b></p> <p>JR池袋駅構内B1にあるフクロウの石像。昭和62年に設置されて以来、待合場所として駅利用者たちに親しまれている。駅の待合場所としては、渋谷駅のハチ公、東京駅の銀の鈴、新宿駅のアルタ前などと共に定番。</p>	<p><b>68 荒川ふるさと文化館</b></p> <p>素戔嗚神のすぐ裏。一階の展示館は様々な展示がされていて、古代から現代までの荒川区の歴史や文化が学べる施設。館の玄関地面にあるだまし絵をつまぐ角度を調整して松尾芭蕉を浮かび上がらせて撮影。</p>
	<p><b>1 菊見煎餅総本店</b></p> <p>1875(明治5)年創業。一枚一枚手作りされる堅焼きせんべいは徳ごたえと四角い形が特徴。懐かしいその味わいは醤油・抹茶・唐辛子・砂糖の4種類。</p>		<p><b>12 アメ横センタービル</b></p> <p>連日買物客で賑わうアメ横商店街のシンボリック的存在。2013年上半期放送のNHK朝ドラ「あまちゃん」では舞台の一つとなり、「アメ横学園」の練習場として登場した。</p>		<p><b>23 すがもんポスト</b></p> <p>巣鴨地蔵通り商店街のキャラクター「すがもん」が上に乗ったポスト。巣鴨駅から巣鴨地蔵通り商店街を進み、とげぬき地蔵の先にある巣鴨郵便局の前にある。</p>		<p><b>40 南千住駅前歩道橋</b></p> <p>貨物専用の駅「隅田川貨物駅」は30本以上も線路がある巨大コンテナターミナルで、貨物列車を入れ替える操作場の線路上をまたぐように架かる跨線橋が貨物列車のマニアたちにとっては聖地になっています。</p>	<p><b>71 大隈記念講堂</b></p> <p>略称は大隈講堂。大隈重信像と並び早稲田大学を象徴する建造物。2007年に重要文化財に指定された。早大が主催する重要な行事、講演会はここで行われることが多い。</p>
	<p><b>2 谷中霊園</b></p> <p>JR日暮里駅南の高台にある、桜の木で囲まれた霊園。有名な芸術家や俳優の墓、五重塔跡がある。横山大観・渋沢栄一もここに眠る。天王寺南東角にあるお地蔵さんを撮影。</p>		<p><b>13 上野東照宮</b></p> <p>上野恩賜公園内にある神社。その豪華さや由来から三大東照宮の一つに数えられることが多い。創建当初の御祭神は東照神君徳川家康、天海僧正、藤堂高虎で、徳川家康・徳川吉宗・徳川慶喜の三將軍を祀る。</p>		<p><b>24 金太郎鮎本店</b></p> <p>『どこを切っても金太郎』でおなじみの「金太郎鮎」。東京三ノ輪にて明治初期から120年以上長く愛されてきた歴史と伝統の味。職人の手作りで、同じように見えても笑顔だったり、困った顔だったり表情はいろいろ。</p>		<p><b>43 装束稲荷神社</b></p> <p>大晦日から元日未明にかけて、ここから「大晦日狐の行列」が王子稲荷へ向かう。歌川広重の浮世絵にも描かれた毎年大晦日の夜、全国の狐がここに集まって装束を改める「王子装束の稲荷狐」を再現している。</p>	<p><b>74 源森橋</b></p> <p>北十間川に架けられた橋。現在の橋は2007年完成とまだ新しく、スカイツリーの撮影スポットとしてよく知られています。見本にはありますが、都電荒川線は写さなくてかまいません。</p>
	<p><b>3 谷中の井戸</b></p> <p>名横綱故千代の富士の像がある玉林寺の脇を抜けるクラック上の細い路地の中箇点の石段を下りたところの風情のあるトタン屋根で覆われた個人所有の井戸。谷中の静寂こわさないよう静かに撮影下さい。</p>		<p><b>14 浅草演芸ホール</b></p> <p>浅草の歓楽街「六区」の中心に位置する寄席。都内に4軒ある落語定席の一つで、落語を中心に、漫才、手品などの色物芸が多数執り行われている。</p>		<p><b>25 東京大学赤門</b></p> <p>東大本郷キャンパス南西部にあり、本郷通りに面している。東大正門ではない。もともとは加賀藩前田家上屋敷の門であり、1827年に建造された。国の重要文化財。</p>		<p><b>46 日無坂と富士見坂の合流点</b></p> <p>幅の狭い人道階段の日無坂と幅の広い車道の富士見坂。特徴の異なる二つの坂は坂上で分岐している。坂に挟まれた角地の竈に覆われた木造家屋を撮影。</p>	<p><b>77 大塚駅前広場のカーブ</b></p> <p>都電荒川線屈指の鉄道写真撮影場所。90度カーブして方向を変えるときにできる軌跡は「音鉄」たちの大好物で、聖地にもなっています。都電荒川線沿線はバラがきれい咲き誇る季節の再訪がお勧め。</p>
	<p><b>4 カヤバ珈琲</b></p> <p>大正5年築の町家を利用した昭和13年創業の珈琲店。一度閉店したが、この店を愛する有志により大正町家の柱梁や外観、昔の雰囲気を残しつつ平成21年に復活した。軽食メニューやドリンクを提供。</p>		<p><b>15 花やしき</b></p> <p>幕末黒船来航の年1853年に開園。日本最古のジェットコースターはスリル満点。浅草門外の郵便ポストの上には名物のパンダカーのミニチュアがちょこんと乗っています。</p>		<p><b>26 浅草寺仲見世</b></p> <p>浅草寺と雷門を結ぶ参道にある江戸時代から続く日本最古の商店街のひとつ。写真は江戸の街を再現して人気急上昇した伝法院通りとの四辻から浅草寺方向を撮影。</p>		<p><b>49 荒川五丁目公園(らくだ公園)</b></p> <p>大きなラクダさんの遊具があり、通称らくだ公園。大きならくだミニチュメント兼滑り台滑り台の下は砂場になっています。滑り台部分を滑ってくる子がいるので砂場遊びは上方に気をつけて下さい。</p>	<p><b>80 三ノ輪橋駅</b></p> <p>都電荒川線の始発駅。春には見事なバラが咲き揃う都内唯一の都電が走る停留所であることから、平成9年に「関東の駅百選」に選定されました。(車両が無く、駅舎のみでもOK)</p>
	<p><b>5 第二中里踏切(山手線最後の踏切)</b></p> <p>駒込駅と田端駅の間にある踏切で、山手線に唯一残されている踏切。ピーク時の1時間あたりの遅延時間は40分を超え、「開かずの踏切」として知られる。ゴルフボールの立体看板をフレームインさせること。</p>		<p><b>16 根津教会</b></p> <p>約100年前の大正8年築の木造の教会。関東大震災や東京大空襲でも焼けずに残り、国の有形文化財に登録されている。先のとがったアーチ形の窓が特徴的。</p>		<p><b>27 渋沢栄一像</b></p> <p>飛鳥山公園の東側の庭園に立つのが渋沢栄一像。この庭園は近代日本経済の父といわれる渋沢栄一が明治12年から亡くなる昭和6年まで暮らした場所。大正時代築の青淵文庫、晩香廬(ばんこうろ)が現存しています。</p>		<p><b>50 おみくじ又はおせんべい購入ポイント</b></p> <p>地図の範囲の神社でおみくじ又はおせんべいを自費購入して、神社又はお店の看板と買ったものを一緒に写真を撮ると50点です。(加算されるのはおみくじ又はおせんべいで1度だけ)</p>	<p><b>83 十条銀座商店街</b></p> <p>昭和54年にかけてアーケードが整備された約200軒の商店で構成されている東京都北区では最大規模の商店街。南北に長い商店街の全長は375m。十字に交わるアーケードを西へ曲り西端の十条銀座看板を東向きに撮影。</p>
	<p><b>6 六義園正門</b></p> <p>都内でも有数の六義園の紅葉は、優雅な大名庭園を鮮やかに彩ります。300年の歴史ある日本庭園で、季節の移ろいを感じながら贅沢な時間を過ごすことができます。いくつかある門のうち正門を撮影。</p>		<p><b>17 入谷朝顔翁祥之地碑</b></p> <p>幕末の安政の頃に入谷に住んでいた植木師成田屋山崎留次郎が朝顔作りの大関だったと記録が残っていますが、入谷が朝顔で有名になったのは明治になってからで、十数件の植木屋が軒を連ねて朝顔作りをはじめました。</p>		<p><b>28 飛鳥山公園</b></p> <p>昭和53年4月まで都電荒川線を行っていた車両が飛鳥山公園に展示されている。この車両は6000型と呼ばれており昭和24年製造の75歳。</p>		<p><b>52 とげぬき地蔵尊 高岩寺</b></p> <p>江戸時代、毛利家の女中が針を誤飲した際、地蔵菩薩の御影を飲み込んだ所、針を吐き出すことができ、吐き出した御影に針が刺さっていたという伝承もあり、「とげぬき地蔵」の通称はこれに由来する。</p>	<p><b>86 旧中山道板橋宿・板五米店</b></p> <p>築100年旧米屋商家です。旧中山道沿いの板橋宿は江戸時代は宿場町、現代は商店街として暮らしている賑わいが続いています。大正から100年間続いた屋号そのままに「板五米店〜旅とお結び〜」として再生しました。</p>
	<p><b>7 旧古河庭園</b></p> <p>英国ルネサンス風の洋館と洋風庭園は、大正初期の庭園の原型をとどめる貴重な存在。約100種200株のバラが咲き誇り、春と秋にはバラの見頃に合わせたバラフェスティバルを開催。</p>		<p><b>18 田端駅南口</b></p> <p>映画『天気の子』で重要なシーンに登場し、ファンの聖地となっているのが田端駅南口を出てすぐの坂道。フェンスの奥にある何回も登場した「おみくじ」の看板も折角なのでフレームインさせましょう！(新幹線は不要)</p>		<p><b>29 鷲神社</b></p> <p>開運・商売繁盛のお守りである熊手は、十一月に開かれる西の市で各地のおおとり神社にて授与されます。浅草の地にある鷲神社の西の市はその中でも最大級の規模です。</p>		<p><b>55 あしたのジョー像</b></p> <p>昭和を代表するボクシングをテーマとするスポーツ漫画。舞台となった山谷地区のトキヤ街、ジムがあった設定の泪橋の近くにある鷲神社の西の市は、その中でも最大級の規模です。</p>	<p><b>89 松尾芭蕉像</b></p> <p>チェンソーカマで制作された松尾芭蕉像。松尾芭蕉の奥の細道は、1689年に深川を出発し、「門人に見送られ、彼等と千住で別れる時に「行く春や鳥啼さ魚の目は泪」を詠み、そこから旅が始まります。</p>
	<p><b>8 はん亭</b></p> <p>大正期、下駄の瓜皮屋として建設。1970年代運送会社の手に渡り独身寮に。その後、道路拡張工事で不忍通りに面した建物が削られたが、改修工事により飲食店として復元された。</p>		<p><b>19 ニイミ洋食器店</b></p> <p>食の道具が揃ったのは橋道具街のランドマーク的存在。創業100年を超える老舗で、ビル屋上の巨大なコックのオブジェが有名な、食器や厨房用品の専門店。</p>		<p><b>30 西巣鴨公園</b></p> <p>公園の人気者はなんといってもカブトムシの形をしたスベリ台。大きなツノを天に向け、今にものっしのと動き出しそう。子供たちの遊びの邪魔にならないようにカブトムシが撮られてはOKとします。</p>		<p><b>58 名主の滝公園</b></p> <p>江戸時代の王子村の名主が屋敷内に滝を開き、茶を栽培して避暑のために一般に開放したのが始まりで、名前の「名主」はその由来。昭和35年に都の有料公園として開園した。園内は回遊式の庭園となっており男滝を撮影。</p>	<p><b>92 雑司ヶ谷鬼子母神堂</b></p> <p>法明寺にある堂。1561年にこのあたりで鬼子母神像を井戸から掘り出し祀ったのが始まりとされる。1578年に現在の地に堂が建立された。なお正式な「鬼子母神」の表記は「鬼」の上の点がない字体。</p>
	<p><b>9 根津神社</b></p> <p>日本武尊(やまとたけるのみこと)が創祀したと伝わりと現れる手焼き煎餅店。創業から60年以上。江戸っ子好みの手焼き煎餅が並び、人気はごま煎餅。黒ごまがギッシリと詰まっている。</p>		<p><b>20 手児奈せんべい店</b></p> <p>鶯谷駅東側、言問通りからうづいす通りへと進むと現れる手焼き煎餅店。創業から60年以上。江戸っ子好みの手焼き煎餅が並び、人気はごま煎餅。黒ごまがギッシリと詰まっている。</p>		<p><b>31 王子六丁目児童遊園(ロボット公園)</b></p> <p>大きなロボットの遊具があるので地元民からはロボット公園と呼ばれている。ロボットはすべり台になっていて子どもたちに大人気。子供たちの遊びの邪魔にならないようにロボットが撮られてはOKとします。</p>		<p><b>61 あらかわ遊園</b></p> <p>大正11年開園都内唯一の公営遊園地。低年齢層の子供が楽しめようという特化、小学校低学年層に合わせたレベルで激しい動作のアトラクションはない。園内には入らず隅田川岸のアリスの広場から観覧車を撮影する。</p>	<p><b>95 お化け煙突ミニチュメント</b></p> <p>お化け煙突は旧千住火力発電所の4本の煙突で、上から見ると、ひし形に配置されていたために見る場所により1本にも2本にも、さらに3本にも見えました。園内には入らず隅田川岸のアリスの広場から観覧車を撮影する。</p>
	<p><b>10 夕やけだんだん</b></p> <p>下町情緒にあふれる谷中銀座商店街のはずれに見え、夕焼けに染まる商店街の活気を見下ろせる36段のゆるやかな階段。近所の猫たちのたまり場にもなっています。</p>		<p><b>21 鳳明館</b></p> <p>木造2階建の近代和風建築。下宿屋として建設されたが、昭和初期に下宿屋兼旅館に改造し、さらに昭和20年に旅館建築に模様替えした。各室毎に異なる銘木が使われている。</p>		<p><b>34 滝野川稲荷湯</b></p> <p>有名な映画「テルマエ・ロマエ」のロケ地にもなっている稲荷湯の始まりは、100年以上前の大正2年。昭和5年に現在の建物が建築され、銭湯文化を色濃く残す銭湯として幅広い方達に知られるようになった。</p>		<p><b>65 都電おもいで広場</b></p> <p>2007年5月26日より、新型車両9000形のデビューにあわせ「路面電車の日イベント」と共に公開を開始した。土・日・祝日の10:00 - 16:00に広場内を開放している。</p>	<p><b>99 金八先生2オプニング映像の土手</b></p> <p>1980年放映の学園ドラマ「3年B組金八先生」。校内暴力を扱った第2シリーズの主題歌は海援隊の「人として」。金八先生が鉄橋をバックにこの土手を歩いて桜中学に登校します。</p>